

会 議 錄

会議の名称	行田市防災会議			
開催日時	平成26年1月22日(水) 開会:10時00分・閉会:10時35分			
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室			
出席者(委員) 氏名	工藤正司 小野和義 小倉敬翁 小坂高洋 大野康夫 岩根忠 土橋義男 風間祥一 井澤清典 川島将史 小林乙三 小林敏信 岡部紀之 中村猛 杉山晴彦 山岸敏秀 小柳弘行 高内利政 渡辺佳裕 平賀唯司 稲森哲郎 川田英一郎 島澤孝雄 桜沢勇二 淡路輝彦 木村誠 小島一男 相原香保留 井上文子			
欠席者(委員) 氏名	小野寺慎司 松本桂一郎 高橋秀男 菊地実城 川島治			
事務局	杉山課長 西村主査 大久保主任 大澤主事 福田主事			
会議内容	[報告事項] 報告第1号 行田市における災害対応について 報告第2号 行田市における災害対策について その他 平成26年度以降の防災対策について			
会議資料	(資料名・概要等) • 行田市防災会議資料 • 行田市防災ガイドブック • 行田市地震ハザードマップ • 行田市洪水ハザードマップ			
その他必要事項	傍聴者2名			

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開会
工藤会長	2 あいさつ（会長あいさつ）
事務局	議題の進行につきましては、行田市防災会議規定第5条第2項の規定により、会長が議長を務める事となっている。
工藤会長	3 議事（議長：工藤会長）
事務局	<p>（1）報告事項</p> <p>報告第1号 行田市における災害対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 台風18号における行田市の被害状況及び対応について 資料1「台風18号における行田市の被害状況及び対応について」を基に行田市の被害状況及び対応を報告した。 平成25年度災害時の出動・待機状況について 資料2「平成25年度災害時の出動・待機状況一覧」を基に大雨や地震などによる出動・待機体制の状況を報告した。 <p>報告第2号 行田市における災害対策について</p> <p>（ア）平成25年度行田市防災訓練の概要</p> <p>資料3「平成25年度行田市防災訓練実施要綱」を基に説明した。</p> <p>「自主防災組織」を対象として、5会場119団体687名の参加者により、災害時の初動訓練を実施した。本年度は、新たに土のう作りを加えた。</p> <p>（イ）平成25年度行田市自主防災組織リーダー養成講習会の概要</p> <p>資料4「平成25年度行田市自主防災組織リーダー養成講習会実施要綱」を基に説明した。</p> <p>本年度は、講演会を実施し、東日本大震災での経験や自主防災活動や行田市における地域連携、単独自治会による自主防災活動の紹介を行った。</p> <p>なお、災害図上訓練D.I.Gは、竜巻災害の対応のため、中止した。</p> <p>（ウ）平成25年度ジュニア防災訓練の概要</p> <p>資料5「平成25年度行田市ジュニア防災訓練実施要綱」を基に説明した。</p> <p>本年度新たに実施した事業で、地域防災力の新たな力として期待されている中学生を対象に、危険予知トレーニング、初動訓練を実施した。</p> <p>（エ）災害時における災害協定等の状況について</p> <p>資料6「災害時応援協定一覧表」を基に説明した。</p> <p>現在37の事業所と行田市内において災害が発生した際、食料や燃料などの供給を始め、応急復旧活動などについて協定を締結している。本年度新たに3事業所と</p>

	<p>協定を締結した。</p> <p>また、平成24年度末には、群馬県吾妻郡草津町と相互応援協定を締結した。</p> <p>(才) 自主防災組織の設立状況について</p> <p>資料7「自主防災組織一覧表」を基に説明した。</p> <p>本年度新たに8団体8自治会が設立され、186自治会のうち109団体111自治会となっている。</p> <p>なお、行田地区、埼玉地区、太井地区で100%となっている。</p> <p>以上、報告第1号及び報告第2号についての説明である。</p> <p>事務局の説明に対し、意見や質問があればお願いしたい。</p> <p>(委員からの意見や質問なし)</p> <p>この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい。</p> <p>(2) その他</p> <p>平成26年度以降の防災対策について</p> <p>資料「平成26年度以降の防災対策について」を基に以下の内容について説明する。</p> <p>[事業]</p> <p>平成26年度に予定している事業</p> <ul style="list-style-type: none">・行田市防災訓練・行田市自主防災組織リーダー養成講習会・災害時応援協定に係る応援要請伝達訓練・職員対象図上訓練（D I G、H U G、クロスロード等） <p>[設備等]</p> <ul style="list-style-type: none">・防災行政無線更新工事（デジタル化） 平成25年度から27年度にかけて実施し、防災行政無線のデジタル化、屋外拡声子局設備の更新及び新設（5箇所）を実施する。・防災備蓄倉庫及び資機材の整備 現在防災備蓄倉庫を整備している市内の小中学校等に加え、平成26年度から平成27年度にかけて公民館などの避難所施設に防災備蓄倉庫及び資機材を追加整備する予定である。・通信設備の整備 平成25年度より、M C A無線機の整備を進めており、今後も引き続き整備していく。・備蓄食料の整備 地域防災計画に基づき、計画的に整備していく。 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none">・行田市地域防災計画の見直しについて 平成25年度中に、埼玉県地域防災計画の見直しがなされる予定である。行田市においては、埼玉県地域防災計画の見直し結果を踏まえ、関係部署と連携しながら見直しを行う。なお、見直し時期は平成27年度を予定している。
--	--

工藤会長	以上、今後の取組についての説明である。 事務局の説明に対し意見や質問があればお願ひしたい。
井上委員	防災行政無線更新工事を進めるということであるが、住んでいる地域で聞き取れないことがある。①防災行政無線のデジタル化により、従来と比べて聞き取りやすくなるのか。また、②屋外拡声子局の新設はどこを予定しているのか。③防災行政無線が聞き取りにくい地域は把握しているのか。
事務局	まず、デジタル化によって聞きとりやすくなるものではない。デジタル化と併せて行うスピーカ等の更新により、従来よりは聞き取りやすくなるものと考えている。 次に、屋外拡声子局の新設場所であるが、清水町地内、壱里山地内、長野公民館、長野中央公園、谷郷地内の春日神社付近を予定している。 防災行政無線の聞き取りにくい地域の把握については、工事にあたり、平成24年度に市内の防災行政無線屋外拡声子局の調査を行い、把握している。
井澤委員	平成26年度以降の防災対策ということであるが、現在平成26年度当初予算を作成しているところであることから、案として考えてもらいたい。また、設備においては、進度調整させてもらうこともあるので、ご理解いただきたい。
工藤会長	(他の意見や質問なし) 他に意見がなければ、ご了承いただきたい。
相原委員	以上で本日予定していた議事については、無事に終了することができた。 せっかくの機会なので、行田市の防災対策について、ご意見等あればお伺いしたい。
事務局	ジュニア防災訓練を実施したことであるが、中学生は地域の力となる。今後も訓練を継続的に実施し、中学生にその活動が根付く方法で、積み重ねてもらいたい。
工藤会長	今後も中学生を対象とした訓練を継続的に実施していきたい。 中学生を対象とした災害図上訓練を見たが、中学生は非常に熱心に取り組んでいた。中学生は、災害時に頼りとなるので、今後も中学生への防災訓練を実施していきたい。
工藤会長	(他の意見や質問なし)
事務局	以上で行田市防災会議を終了する。
	4　閉会